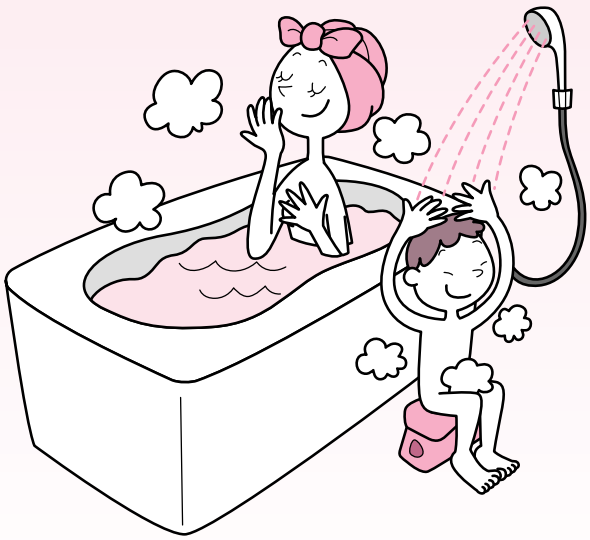
給湯暖房用熱源機

取扱説明書　保証書付

FD2808シリーズ



お客さまへのお願い

＊P14～17「各部のなまえとはたらき（リモコン）」で、お使いのリモコンの品名をご確認のうえ、取扱説明書をお読みください。

このたびは給湯暖房用熱源機をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
＊この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。
　なお、別売品の取扱説明書がある場合は、必ずそちらも併せてお読みください。
＊保証書（裏表紙）は必ずお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめてください。
＊この取扱説明書（保証書付）はいつでもご覧になれるところに保管してください。

TOKYO GAS

SAR8789

SAR8789　T

もくじ

まずはじめにご確認ください

こんなことができます(基本編) …… 3
こんなことができます(応用編) …… 4
製品の品名をご確認ください …… 5
必ずお守りください(安全上の注意) …… 6

ご使用前に

初めてお使いになるときは …… 12
各部のなまえとはたらき(機器本体) …… 13
各部のなまえとはたらき(リモコン) …… 14
時計をあわせる …… 18

お湯・シャワー

お湯を出す …… 19
お湯の温度を調節する …… 20
お湯の温度を調節できないときは ＜優先切替＞ …… 21

おふろ

おふろにお湯はりをする ＜オートストップ＞ …… 22
ふろ温度を調節する …… 24
お湯はり湯量を調節する …… 25

暖房

暖房する …… 26
お好みの時刻に暖房開始・停止するよう設定する ＜暖房予約＞ …… 28
暖房時の音が気になるときは ＜静音＞ …… 30

その他の機能

操作音・音声ガイドの音量を変更する …… 31
使い勝手に合わせて設定を変更する ＜ユーザー設定＞ …… 32

必要なときに

凍結による破損を予防する …… 35
日常の点検・お手入れのしかた …… 39
故障・異常かな？と思ったら …… 41
アフターサービスについて …… 47
主な仕様 …… 48
リモコン音声一覧 …… 49
初期設定一覧 …… 50
保証書 …… 裏表紙

こんなことができます(基本編)

給湯栓やシャワーを開けるとお湯が使えます

☞P19

温度・湯量を設定しておふろにお湯はりができます

☞P22

リモコンの操作音・音声ガイドの音量を変えることができます

☞P31

暖房できます

☞P26

【暖房予約があるリモコンのみ】

お好みの時刻に自動で暖房を開始・停止できます

☞P28

暖房時の音をおさえることができます

☞P30

表示の節電

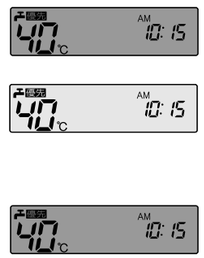
通常は、画面を暗くしてリモコンの無駄な電力消費を防ぎます。

▼

機器を使用すると、画面が少し明るくなります。
※暖房中は、画面は明るくなりません。

▼

機器の使用後 約3分たつと、画面が元の暗さに戻ります。



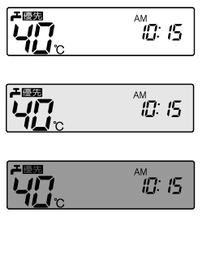
スイッチ操作をすると、画面を最も明るくして見やすくします。

▼

スイッチ操作後 約30秒たつと画面が少し暗くなります。

▼

さらに約2分30秒たつと、画面が元の暗さに戻ります。
(機器を使用している場合は、機器の使用後 約3分たつと、画面が元の暗さに戻ります)



こんなことができます（応用編）

ご家庭の使い勝手に合わせて、いろいろな設定を変更できます＜ユーザー設定＞

リモコンの音声や表示

音声ガイドを
消せないかな

リモコンの音声ガイド☞P32

運転スイッチ「切」のときも
時計表示があると便利なんだけどな

リモコンの画面が消えている
ことがあるけど
常に表示して
おきたい

「表示の節電」と時計表示☞P32

台所リモコンのスイッチを
押したとき、
もう少し
明るい（暗い）方が
見やすい

台所リモコンのスイッチを押したときの
表示画面の明るさ☞P34

給湯

子供がリモコンをさわっていて、
知らない間に
給湯温度が
上がって
しまいそう

給湯温度の上限（最高温度）☞P33

おふろ

子供がリモコンをさわっても
ふろ温度が上がらないように
したい

ふろ温度の上限（最高温度）☞P34

対応する浴室暖房乾燥機がある場合

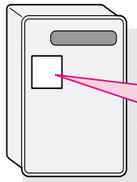
浴室で
衣類乾燥が
終わったら、
すぐに衣類を
取りこみたい

浴室の乾燥終了のお知らせ☞P33

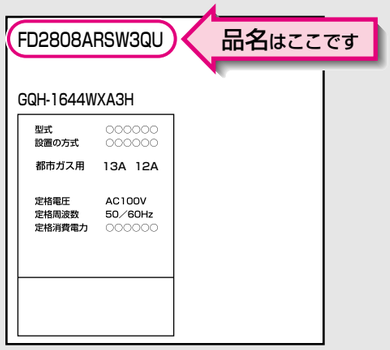
必要に応じて設定してください

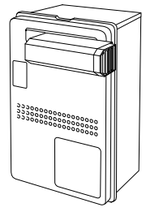
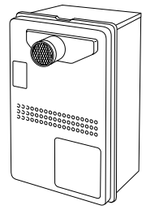
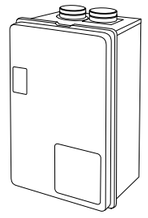
▶ P36の操作（機器の水抜き）をするとき　☞ P33「機器の水抜き」
▶ 変更した設定を初期設定に戻すとき　☞ P34「設定のリセット」

製品の品名をご確認ください



機器正面に貼り付けてある銘板で
調べることができます



	品名	機器コード	型式名
屋外設置形	屋外設置壁掛形 FD2808ARSW3QU	11-049-31-09191	GQH-1644WXA
屋外設置形	PSアルコーブ設置形  FD2808ARS2W3QU	11-049-31-09192	GQH-1644WXA-L
屋外設置形	PS設置前方排気形  FD2808ARS4W3QU	11-049-31-08891	GQH-1644WXA-T
屋内設置形	屋内設置強制給排気形（二本管）  FD2808AFSW3QU	11-049-31-09193	GQH-1644WXA-FF

必ずお守りください(安全上の注意)-1

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

⚠危険

ガス漏れに気づいたときは、

必ずおこなう

1．すぐに使用をやめる
2．ガス栓を閉める
　また、メーターのガス栓も閉める
3．【屋外設置形の場合】
　窓や戸を開ける
4．販売店または、もよりの東京ガスに連絡する

ガス漏れ時は、絶対に

火気禁止

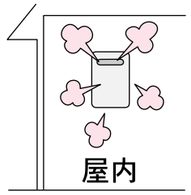
- 火をつけない
- 電気器具のスイッチの入・切をしない
- 電源プラグの抜き差しをしない
- 周辺の電話も使用しない

火や火花で引火し、
火災の原因になります。

【屋外設置形の場合】
屋内に設置しない

禁止

一酸化炭素中毒の原因になります。



【屋外設置形の場合】
給･排気筒が外れたり、穴があいたり、詰まった状態で使用しない

禁止

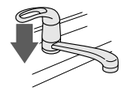
排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因になります。

⚠警告

地震、火災などの緊急の場合は、次の手順に従う

必ずおこなう

1．給湯栓を閉める



2．運転スイッチを「切」にする
3．ガス栓・給水元栓を閉める

点火しない場合または、使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合や、使用途中で消火する場合は、ただちに使用を中止しガス栓を閉める

使用中に異常があった場合は、「故障・異常かな？と思ったら」(☞P41～46)に従い処置をする

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止し、販売店に連絡する

シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」にしない、リモコンの「優先」を切り替えない

禁止

高温に変更されたときのやけど予防のため。
また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

子供を浴室内で遊ばせない
子供だけで入浴させない

禁止

思わぬ事故の原因になります。

お客さまご自身では絶対に分解したり、修理・改造はおこなわない

分解禁止

思わぬ事故や故障の原因になります。

ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要なため、機器の設置・移動・取り外しおよび付帯工事は、販売店または、もよりの東京ガスに依頼する

必ずおこなう

安全に使用していただくため。

電源プラグはぬれた手でさわらない

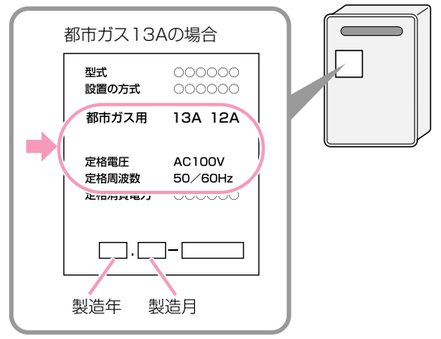
ぬれ手禁止

感電の原因になります。

感電注意

必ず銘板に表示のガス・電源で使用する

必ずおこなう



表示のガス種および電源が一致しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。
特に転居した場合は、必ずガスの種類(電源の種類)が一致しているかどうか確認してください。わからない場合は、販売店または、もよりの東京ガスに連絡してください。

シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する

高温注意

60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。
やけど予防のため。

浴槽の湯温を手で確認してから入浴する

やけど予防のため。

太陽熱温水器とは絶対に接続しない(弊社ソーラー接続ユニットを使用する場合は除く)

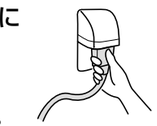
禁止

お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

必ずおこなう

差し込みが不充分だと、
感電や火災の原因になります。



電源プラグのほこりは定期的に取る

必ずおこなう

ほこりがたまると、火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

(つづく)

必ずお守りください(安全上の注意)-2

(つづき)

⚠警告

電源コード、電源プラグの破損・加工をしない
束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を載せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工をしない。

禁止

感電、ショート、火災の原因になります。

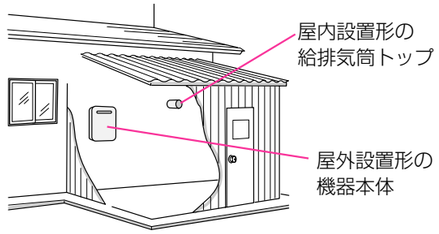
機器本体やガスの配管、排気口などに乗ったりして、無理な力を加えない

禁止

けがや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

増改築などで屋内状態にしない
(波板囲いなどをしない)

禁止



一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

【屋内設置形の場合】
屋外に設置しない

禁止

雨水が浸入したり、炎が風にあおられたりして、故障や火災の原因になります。

【床暖房が設置されている場合】
床暖房の上で長時間座ったり、寝そべったりしない

禁止

低温やけどを起こすおそれがあります。
特に次のような方が使用される場合はまわりの方が注意してあげることが必要です。

＊乳幼児・お年寄り・病人など自分の意思で体を動かせない方
＊疲労の激しいときやお酒・睡眠薬を飲まれた方
＊皮膚や皮膚感覚の弱い方

灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器本体や排気口・給排気筒トップのまわりで使用しない

禁止

火災の原因になります。

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを、機器本体や排気口・給排気筒トップのまわりに置かない、使用しない

禁止

熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

燃えやすい物をまわりに置かない
(洗濯物、新聞紙、灯油など)

禁止

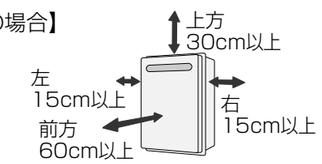
火災の原因になります。

燃えやすい物とは離す(樹木、木材、箱など)

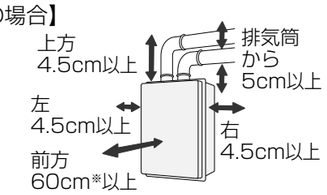
必ずおこなう

火災予防のため。

【屋外設置形の場合】



【屋内設置形の場合】



※印はアフターサービス上の寸法です。

⚠注意

必ずアースする

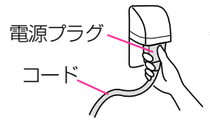
アースする

機器が故障した場合、感電の原因になります。
アースがされていない場合は、販売店または、もよりの東京ガスにご相談ください。

電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く

必ずおこなう

コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。



機器の給気口がほこり・ゴミなどでふさがっていないか確認する

必ずおこなう

不完全燃焼の原因になります。

子供を機器の周囲、直下で遊ばせない

禁止

思わぬ事故の原因になります。

乾電池に関する注意(取り替え機器についてのお願い)

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。
もしお客さまで旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

【配管カバーまたは据置台がある場合】
配管カバーまたは据置台のフロントカバーを外した場合は、作業終了後、必ずフロントカバーを元どおり正しく取り付ける(☞P13)

必ずおこなう

給湯、シャワー、暖房以外の用途には使用しない

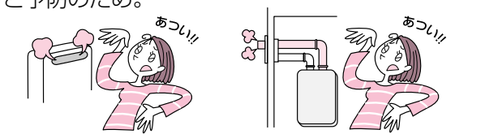
禁止

思わぬ事故を予防するため。

使用中や使用後しばらくは、排気口・給排気筒トップ・排気筒付近に触れない

接触禁止

やけど予防のため。



機器の点検・お手入れ・水抜きをする場合、運転スイッチ「切」にし、機器が冷えてからおこなう

必ずおこなう

やけど予防のため。
機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

リモコンには磁石を使用しています

磁石の力は非常に微弱ですが、ペースメーカーなど医療機器を使用している方は、医師とご相談のうえ使用してください。

【床暖房が設置されている場合】
床暖房の上に電気カーペットを敷かない

禁止

床材の割れ、そり、すき間の原因になります。

床暖房に鋭利なものを落としたり、刺したり、くぎ打ちなどをしない

温水パイプが破損します。

必ずお守りください(安全上の注意)-3

お願い

雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグを電源コンセントから抜く(またはブレーカーを落とす)

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
雷がやんだあとは電源プラグを電源コンセントに差し込み、時計をあわせてください。

※冬期は、電源プラグを長時間抜くと凍結のおそれがあります。
※落雷被害に有効な火災保険へのご加入をおすすめします。

台所リモコンは0℃～40℃の室温で使用する

故障の原因になります。

リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

リモコンの掃除には、塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤などを使用しない

変形する場合があります。

台所リモコン・増設リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない

炊飯器、電気ポットなどに注意。
故障の原因になります。

防水型増設リモコンに故意に水をかけない

防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。

防水型増設リモコンに、シャンプー・リンス・入浴剤などを故意にかけない

変色などの原因になります。

リモコンを子供がいたずらしないよう注意する

運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない

お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。
運転スイッチ「切」時にお湯側から長時間水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になる場合があります。
シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

浴槽、洗面台はこまめに掃除する

湯あかが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

温泉水、井戸水、地下水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。
この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

断水時は運転を停止し、給湯栓を閉める

給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。

断水復帰後の使い始めのお湯は飲まない、調理に使用しない

断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管にとどまることがあります。

断水復帰後は、給湯栓から充分水を流してから使用する

排気ガスが直接建物の外壁・窓・アルミサッシなどや、物置などの塗装品などに当たらないように設置する
増改築時も同様に注意する

ガラスが割れたり、変色したり、塗装がはがれたりする原因になります。

塀などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する

塀などと機器との間に充分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。
また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。
(機器の修理・点検に必要な空間については、販売店または、もよりの東京ガスに確認してください)

業務用の用途では使用しない

この製品は家庭用ですので、業務用の用途で使用すると製品の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

使用時の点火、使用後の消火を確認する

ガス事故防止のため。

【屋内設置形の場合】
機器に法定のラベルが貼付されていることを確認する

「特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律」の対象であり、法定資格を有する者以外、設置・移設できません。

機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然としていると、機器の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

停電後や、長期不在などで電源プラグを抜いたあとは、現在時刻を確認する

時計がリセットし、表示が「-:--」になる場合があります。

停電すると、運転が停止します

凍結による破損を予防する(☞P35～38)

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な処置をしてください。
凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

長期間使用しない場合、必要な処置をする(☞P36～37)

凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

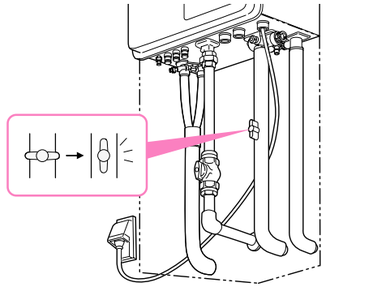
積雪時には給気口・排気口・給排気筒トップの点検、除雪をする

雪により給気口・排気口・給排気筒トップがふさがれると不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

初めてお使いになるときは

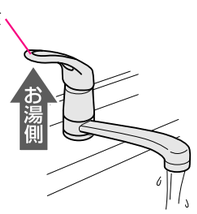
初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1 **給水元栓をゆっくり開け、すべての水抜き栓から水漏れがないか確認してから、給水元栓を全開にする（水抜き栓の位置☞P37）**



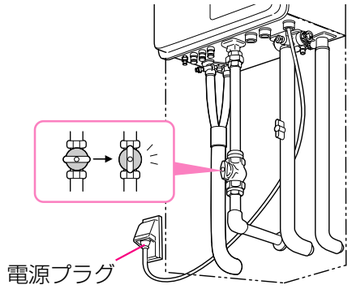
（例：FD2808ARSW3QU）

2 **給湯栓を開けて水が出ることを確認し、再度閉める**



3 **ガス栓を全開にし、電源プラグが電源コンセントに差し込まれていることを確認する**

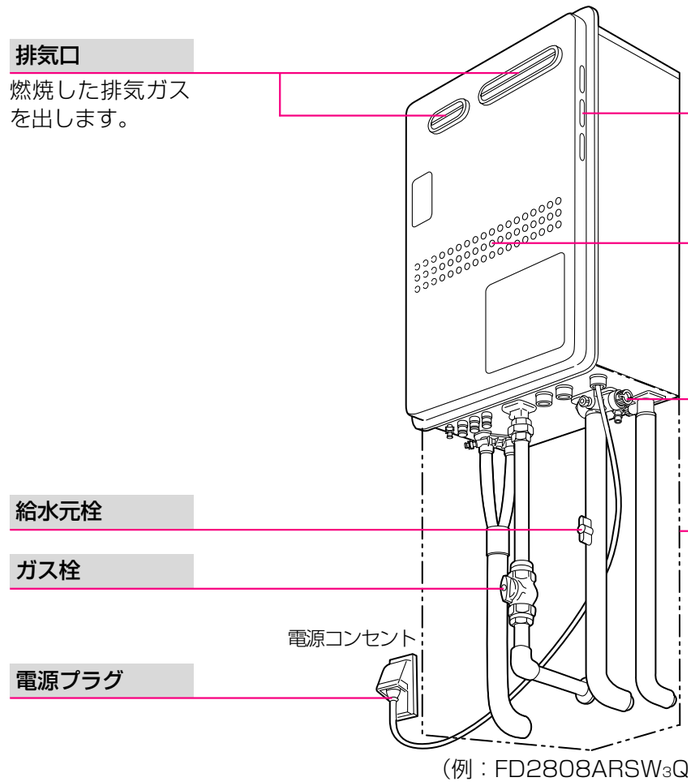
ぬれた手でさわらない



各部のなまえとはたらき（機器本体）

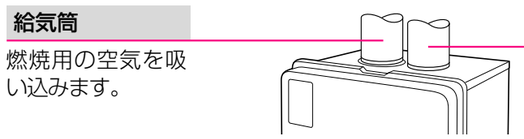
イラストは施工例です。配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

● 屋外設置形 ●



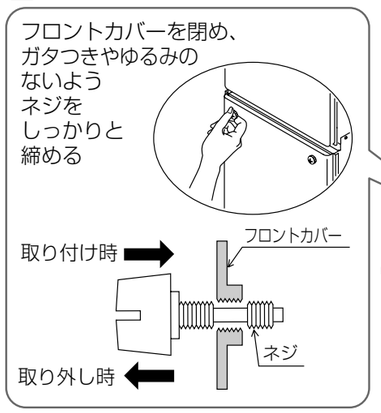
（例：FD2808ARSW3QU）

● 屋内設置形 ●

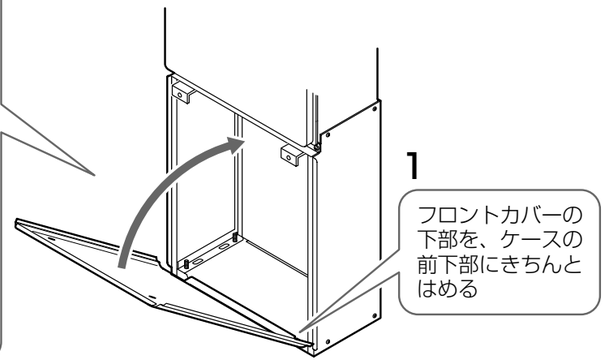


● 配管カバーまたは据置台を設置している場合 ●

2



※フロントカバーを外したあとは、正しく取り付けてください。

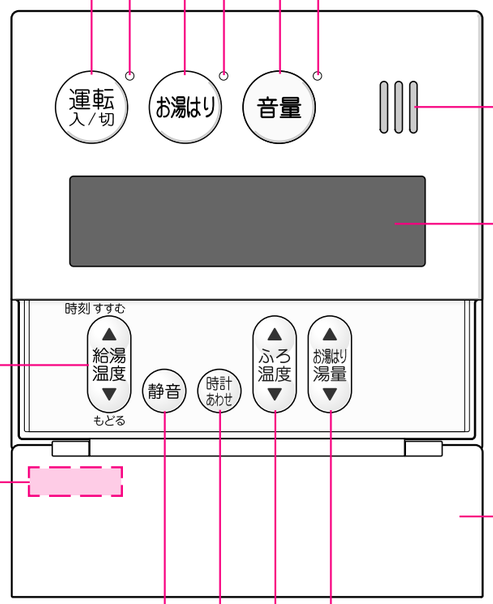


各部のなまえとはたらき(リモコン)-1

下記の位置に書いてある品名をご確認のうえ、品名の該当する操作説明をお読みください。
ただし、台所リモコンFSR-A08A-SV, FSR-A08A-DSVで操作方法が共通する場合、代表としてFSR-A08A-SVで説明しています。

台所リモコン(FSR-A08A-SV)<別売品>

台所などに付いているリモコンです。スイッチを押すと操作音が鳴り、操作の内容を音声でお知らせします。



お湯はりスイッチ・ランプ(赤)
おふろにお湯はりをするときに。 (☞P22)

運転スイッチ・ランプ(緑)
運転の入·切に。

給湯温度スイッチ
給湯やシャワーのお湯の温度の設定に。 (☞P20)
時計をあわせるときに。 (☞P18)
その他の設定を変更するときに。

リモコン品名
ふたの表面に記載しています。

静音スイッチ
暖房時の音が気になるときに。 (☞P30)

時計あわせスイッチ
時計をあわせるときに。 (☞P18)

音量スイッチ・ランプ(赤)
操作音·音声ガイドの音量を変更するときに。 (☞P31)

スピーカー

表示画面
(☞次ページ)

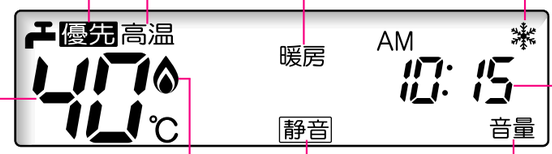
ふたを開けた状態

お湯はり湯量スイッチ
お湯はり湯量の設定に。 (☞P25)

ふろ温度スイッチ
ふろ温度の設定に。 (☞P24)

● 表示画面 ●

下記の表示画面は説明用です。実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。



高温表示
お湯の温度を60℃に設定したときに点灯します。 (☞P20)

優先表示
この表示が点灯しているときは、お湯の温度が調節できます。 (☞P20,21)

給湯温度表示
(例:40℃)

炎マーク
給湯・シャワーや、お湯はりまたは暖房など、燃焼中に点灯します。

静音表示
静音設定中に点灯します。 (☞P30)

音量表示
操作音·音声ガイドの音量を変更するときに点滅します。(☞P31)

暖房表示
暖房中に点灯します。 (☞P26)

凍結予防運転中マーク
凍結予防のためにポンプが作動しているときに点灯します。 (☞P35)

時計表示
(例:午前10時15分)
通常運転スイッチ「切」時は時計表示をしません。
※運転スイッチ「切」時でも時計表示をするよう設定を変更できます。 (☞P32)

ふろ温度表示
ふろ温度スイッチを押すと、約10秒間、ふろ温度と浴槽マークが点滅します。(☞P24)

故障表示
不具合が生じたとき、故障表示をします。 (☞P45)

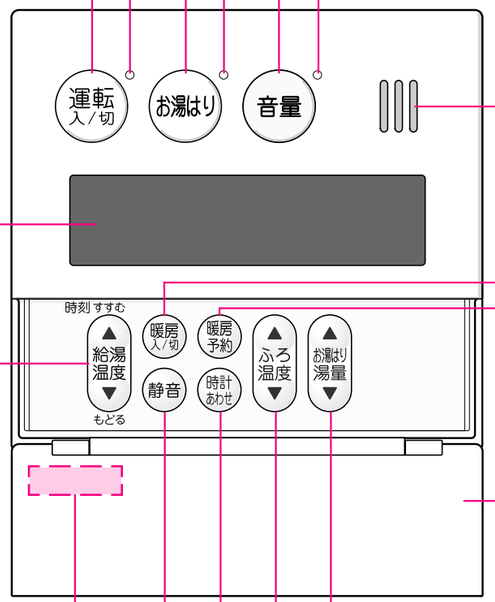
＊その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

各部のなまえとはたらき(リモコン)-2

下記の位置に書いてある品名をご確認のうえ、品名の該当する操作説明をお読みください。
ただし、台所リモコンFSR-A08A-SV, FSR-A08A-DSVで操作方法が共通する場合、代表としてFSR-A08A-SVで説明しています。

台所リモコン(FSR-A08A-DSV)<別売品>

台所などに付いているリモコンです。スイッチを押すと操作音が鳴り、操作の内容を音声でお知らせします。



お湯はりスイッチ・ランプ(赤)
おふろにお湯はりをするときに。(☞P22)

運転スイッチ・ランプ(緑)
運転の入·切に。

表示画面
(☞次ページ)

給湯温度スイッチ
給湯やシャワーのお湯の温度の設定に。(☞P20)
時計をあわせるときに。(☞P18)
その他の設定を変更するときに。

リモコン品名
ふたの表面に記載しています。

静音スイッチ
暖房時の音が気になるときに。(☞P30)

音量スイッチ・ランプ(赤)
操作音·音声ガイドの音量を変更するときに。(☞P31)

スピーカー

暖房スイッチ
暖房するときに。(☞P27)

暖房予約スイッチ
お好みの時刻に暖房開始・停止するよう設定するときに。(☞P28)

ふたを開けた状態

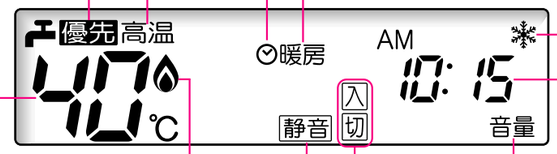
お湯はり湯量スイッチ
お湯はり湯量の設定に。(☞P25)

ふろ温度スイッチ
ふろ温度の設定に。(☞P24)

時計あわせスイッチ
時計をあわせるときに。(☞P18)

● 表示画面 ●

下記の表示画面は説明用です。実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。



高温表示
お湯の温度を60℃に設定したときに点灯します。(☞P20)

優先表示
この表示が点灯しているときは、お湯の温度が調節できます。(☞P20,21)

給湯温度表示
(例:40℃)

炎マーク
給湯・シャワーや、お湯はりまたは暖房など、燃焼中に点灯します。

静音表示
静音設定中に点灯します。(☞P30)

入 暖房入予約マーク
切 暖房切予約マーク
暖房入時刻、暖房切時刻を予約しているときにそれぞれ点灯します。(☞P28)

音量表示
操作音·音声ガイドの音量を変更するときに点滅します。(☞P31)

予約マーク
予約中に点灯します。(☞P28)

暖房表示
暖房中または暖房予約中に点灯します。(☞P26,27,28)

凍結予防運転中マーク
凍結予防のためにポンプが作動しているときに点灯します。(☞P35)

時計表示
(例:午前10時15分)
通常運転スイッチ「切」時は時計表示をしません。
※運転スイッチ「切」時でも時計表示をするよう設定を変更できます。(☞P32)

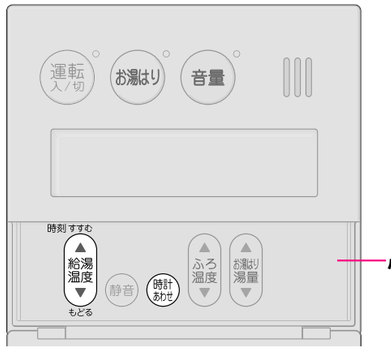
ふろ温度表示
ふろ温度スイッチを押すと、約10秒間、ふろ温度と浴槽マークが点滅します。(☞P24)

故障表示
不具合が生じたとき、故障表示をします。(☞P45)

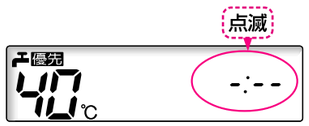
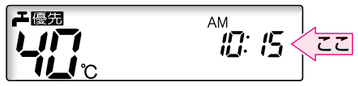
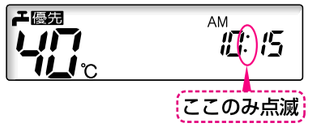
＊その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

時計をあわせる

【台所リモコン】



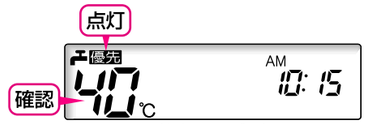
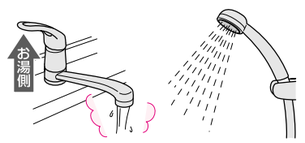
ふたを開けた状態

操作	操作後の画面	お知らせ
1 ふたの中の（時計あわせ）を押す	 （運転スイッチ「入」時の表示例）	＊（運転 入／切）の「入」「切」に関係なく、設定できます。
2 時刻 すすむ（給湯温度）もどる で時計をあわせる	 （例：午前10時15分）	＊一度押すごとに1分ずつ、長押しすると10分ずつ変わります。
3 （時計あわせ）を押す 【時計あわせ完了】		＊元の画面に戻ります。 ＊約20秒そのままにしても設定完了します。

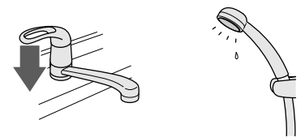
＊停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電して時計を表示させると「-:--」になる場合がありますので、時計をあわせ直してください。
＊通常、運転スイッチ「切」にすると時計表示も消えますが、運転スイッチ「切」にしても時計表示をするよう、設定を変更できます。（☞P32）

お湯を出す

【台所リモコン】

操作	操作後の画面	お知らせ
1 （運転 入／切）を「入」にする	 （例：40℃）	＊（運転 入／切）ランプ点灯。 ＊現在の給湯温度を表示します。
2 給湯栓を開ける またはシャワーを出す		

● お湯を止めたいとき

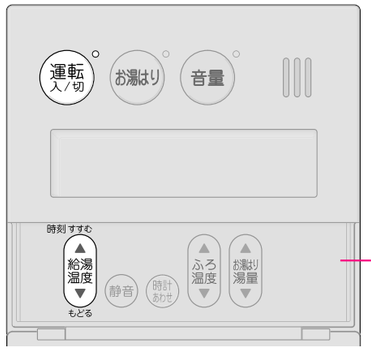
3 給湯栓を閉める またはシャワーを止める		

⚠警告	⚠	シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する
60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。 やけど予防のため。		

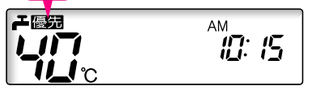
⚠警告	⃠	シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」にしない、リモコンの「優先」を切り替えない
高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。		

お湯の温度を調節する

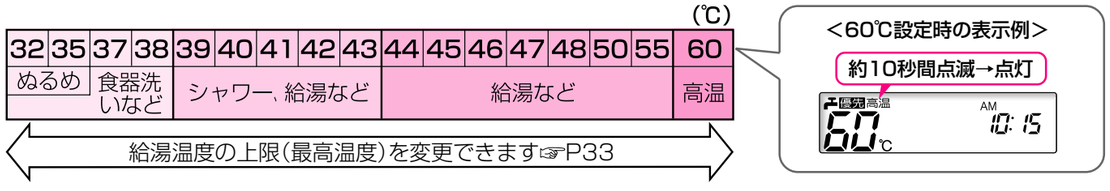
【台所リモコン】



ふたを開けた状態

操作	操作後の画面	お知らせ
1 運転 入／切 を「入」にする または 優先 が点灯していることを確認する （点灯していないときは☞P21）	点灯  （例：40℃）	＊運転 入／切 ランプ点灯。 ＊現在の給湯温度を表示します。
2 ふたの中の 給湯温度 で調節する	 （例：42℃）	＊優先 が点灯していない場合に 給湯温度 を押すと、「ピピピ」と鳴って温度調節ができないことをお知らせします。

● お湯の温度の目安 ●



＊目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。
＊低い給湯温度（ぬるめ・食器洗いなど）に設定した場合、水温が高いとその温度にならないことがあります。
＊表示の温度をよく確かめてから使用してください。高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。
＊サーモ付混合水栓の場合は、リモコンの給湯温度をご希望の温度より約10℃高く設定すると、ちょうどよくなります。

⚠警告 **シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」にしない、リモコンの「優先」を切り替えない**

高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

お湯の温度を調節できないときは＜優先切替＞

【台所リモコン】

増設リモコンがある場合、増設リモコン側で運転スイッチ「入」にすると、台所リモコンで給湯温度が調節できなくなります。以下の方法で「優先切替」をしてください。

操作	操作後の画面	お知らせ
1 運転 入／切 をいったん「切」にし、再度「入」にして 優先 を点灯させる	点灯 （表示例）	＊台所リモコンで記憶していた給湯温度を表示します。 ＊運転が停止するため、ご注意ください。

「優先」とは

台所、洗面所、シャワーなど、機器からお湯を供給しているところには、同じ温度のお湯が出ます。
そのため、お湯を使っているときに他の人が給湯温度を変えてしまうと、出ているお湯の温度が変わり、使っている人がやけどをしたり、急に冷たくなって驚く原因になります。
このような事故などを防ぐために、リモコンが複数ある場合は一つのリモコンでしか給湯温度が変えられないようになっています。
給湯温度を調節できることを「優先」と呼び、給湯温度を調節できるリモコンには、優先 が点灯します。

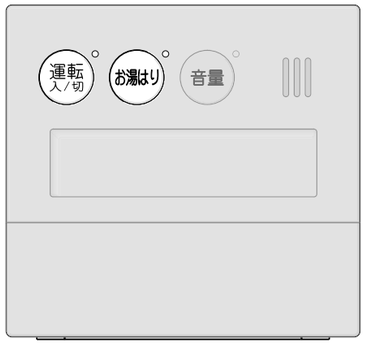
■運転 入／切 を「入」にしたリモコンが優先になります。

⚠警告 **シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」にしない、リモコンの「優先」を切り替えない**

高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

おふろにお湯はりをする<オートストップ>

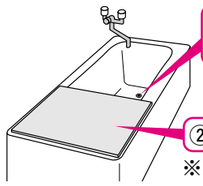
【台所リモコン】



＊おふろにお湯はりをするには、お湯はりスイッチを押しておふろの給湯栓を開けてください。
設定したお湯はり湯量になると、お湯はりメロディでお知らせし、お湯が自動的に止まります。
＊お湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、使用した分だけお湯はり湯量が少なくなります。
＊お湯が止まっても給湯栓は開いたままなので、必ず閉めてください。（閉めないと給湯が使えません）

操作	操作後の画面	お知らせ

準備



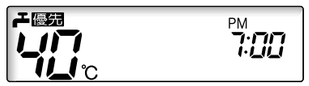
※お湯が入る部分は開けておく

③リモコンの音量の設定（☞P31）が「0」でないこと、音声ガイドの設定が「on」になっていることを確認する
④ふろ温度・お湯はり湯量を確認する（☞P24,25）

＊リモコンの音量を「0」に設定すると、お湯はりメロディは鳴りません。また、リモコンの音声ガイドを「oF」にすると、給湯栓を閉め忘れた場合の音声のお知らせをしません。

1

運転 入/切 を「入」にする



2

お湯はり を「入」にする

＊お湯はり ランプ点灯→約10秒後点滅。
＊ふろ温度表示が点滅している間は、▲ふろ温度▼でふろ温度が変更できます。

3

給湯栓を開ける
【お湯はり開始】

＊お湯はり終了が近づくと、音声でお知らせします。

【サーモ付混合水栓の場合】
水栓側の温度設定を最も高温にしてお湯はりしてください。
中間の位置で使用すると、水が混ざるため浴槽からお湯があふれたり、ぬるくなる場合があります。

【お湯はり終了】

＊お湯はり ランプ点灯。
＊メロディでお知らせします。
＊お湯が止まります。
＊設定した湯量程度のお湯が入ったのに、お湯はりメロディが鳴らないのはなぜ？（☞P42）

操作	お知らせ

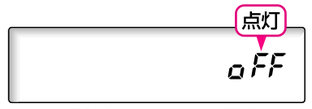
4

給湯栓を閉める
他の給湯栓でお湯を使っている場合は、その給湯栓もいったん閉める
【お湯はり完了】

＊お湯はり ランプが消灯するまで、給湯栓を開けないでください。

⚠警告 高温注意
【サーモ付混合水栓の場合】
給湯栓を閉めたあとは、水栓側の温度設定を40℃くらいの位置に戻してください。
やけど予防のため。

お湯が止まっても給湯栓は開いたままなので、必ず閉めてください。（閉めないと給湯が使えません）
給湯栓を閉めないまま10分以上たつと、右のような画面表示でお知らせします。（お湯はりランプ点滅）
➡給湯栓を閉めてお湯はりスイッチを押すと、お湯が使えます。（お湯はりランプ消灯）



（台所リモコンの表示例）

● 給湯栓を開ける前にお湯はりをやめたいとき

お湯はり を「切」にする

＊お湯はり ランプ消灯。

● 給湯栓を開けたあとお湯はりをやめたいとき

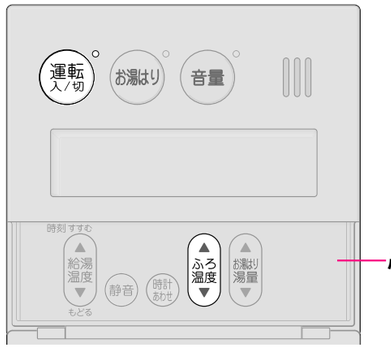
給湯栓を閉めてから お湯はり を押す

＊お湯はり ランプが消灯するまで、給湯栓を開けないでください。

＊お湯はり中に、台所やシャワーでお湯を使うと、ふろ温度のお湯が出ます。
＊お湯はりスイッチを押さずに給湯栓を開けてもお湯はりできますが、お湯は自動的に止まりません。また、お湯はりメロディと音声でのお知らせもしません。この場合、給湯温度のお湯でお湯はりするため、給湯温度を高温に設定している場合は注意してください。（やけど予防のため）
＊お湯はり終了後に給湯栓を閉めなかった場合、お湯はりメロディが鳴ってから約10分間、給湯栓から少量の水が出たり止まったりします。給湯栓を閉めると水は止まります。

ふろ温度を調節する

【台所リモコン】



ふたを開けた状態

操作	操作後の画面	お知らせ
1 運転 入/切 を「入」にする	優先 40℃ PM 7:00 （表示例）	＊運転 入/切 ランプ点灯。
2 ふたの中の ふろ温度 ▼ で **お好みの温度に調節する**	点滅 ここ 優先 40℃ 42℃ （例：42℃）	＊変更した温度は記憶します。 ＊操作後 約10秒たつと、元の画面に戻ります。

● ふろ温度の目安 ●

（℃）

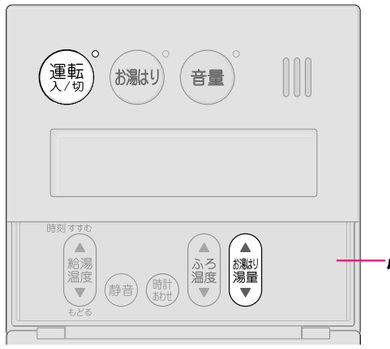
33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ							ふつう				あつめ				

ふろ温度の上限（最高温度）を設定できます☞P34

設定するふろ温度は目安です。
実際の温度と設定温度は、季節や配管の長さなどの条件により異なります。

お湯はり湯量を調節する

【台所リモコン】



ふたを開けた状態

操作	操作後の画面	お知らせ
1 運転 入/切 を「入」にする	優先 40℃ PM 7:00 （表示例）	＊運転 入/切 ランプ点灯。
2 ふたの中の お湯はり湯量 ▼ で **お好みの湯量に調節する**	点滅 ここ 優先 40℃ 200ℓ （例：200リットル）	＊変更した湯量は記憶します。 ＊操作後 約10秒たつと、元の画面に戻ります。

● お湯はり湯量の設定値 ●

（リットル）

40	60	80	100	120	140	160	180	200	220	240	260	300	350	400

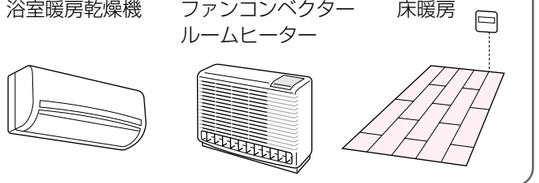
□＝初期設定（工場出荷時）

暖房する

暖房放熱器に運転スイッチがありますか？

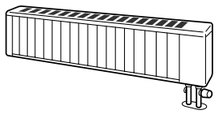
ある

浴室暖房乾燥機　ファンコンベクター　ルームヒーター　床暖房



ない

パネルヒーター



右ページの手順で暖房してください →

暖房放熱器の運転スイッチ「入」にすると、暖房運転ができますか？

できる

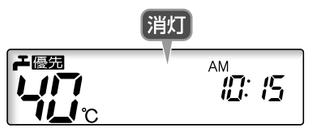
下記の手順で暖房してください
（台所リモコンの操作はありません）

できない

右ページの手順で暖房してください →

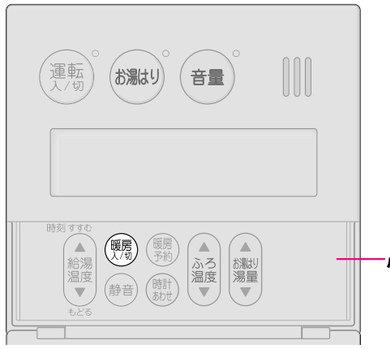
操作	操作後の画面	お知らせ
1 暖房する部屋の暖房放熱器の運転スイッチを「入」にする	（台所リモコンの運転スイッチ「入」時の表示例）	＊(運転 入/切)の「入」「切」に関係なく、暖房できます。 ＊パネルヒーターが併設されている場合は、パネルヒーターのバルブを開けておくと同時に暖房します。
2 暖房放熱器の温度などを調節する（調節機能のある暖房放熱器のみ）		＊暖房放熱器の調節方法などについては、暖房放熱器側の取扱説明書に従ってください。

● 暖房をやめたいとき

暖房放熱器の運転スイッチを「切」にする		

(暖房 入/切) のあるリモコンで設定できます

【台所リモコン FSR-A08A-DSV】



ふたを開けた状態

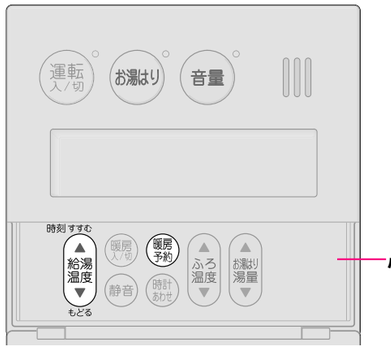
操作	操作後の画面	お知らせ
1 ふたの中の (暖房 入/切) を押して「入」にする	（台所リモコンの運転スイッチ「入」時の表示例）	＊(運転 入/切)の「入」「切」に関係なく、暖房できます。
2 1. 暖房放熱器の運転スイッチを「入」にするまたはパネルヒーターのバルブを開ける 2. 暖房放熱器の温度などを調節する（調節機能のある暖房放熱器のみ）		＊暖房放熱器の調節方法などについては、暖房放熱器側の取扱説明書に従ってください。

● 暖房をやめたいとき

(暖房 入/切) を押して「切」にする		

暖房予約 のあるリモコンで設定できます お好みの時刻に暖房開始・停止するよう設定する＜暖房予約＞

【台所リモコン FSR-A08A-DSV】

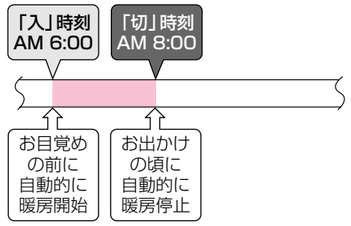


ふたを開けた状態

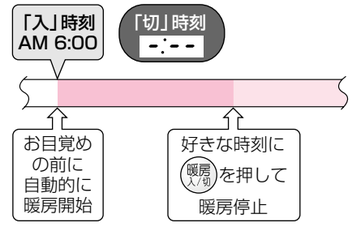
暖房放熱器の運転スイッチ「入」にしておき（またはパネルヒーターのバルブを開いておき）、暖房予約で暖房予約を設定しておけば、リモコンの運転スイッチ「入」「切」に関係なく自動的に暖房を開始または停止します。

「入」時刻・「切」時刻の設定例

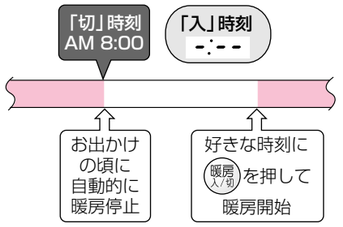
■朝6時に暖房を自動開始し、朝8時に暖房を自動停止する



■朝6時に暖房を自動開始する（手動で暖房停止する）



■朝8時に暖房を自動停止する（手動で暖房開始する）



朝6時に暖房を自動開始し、朝8時に暖房を自動停止する例で説明します

準備

1. 現在の時刻が正しいかどうか確認する（時計をあわせる☞P18）
2. 暖房放熱器の運転スイッチが「入」になっているか、またはパネルヒーターのバルブが開いているかどうか確認する
3. 暖房放熱器の温度などを調節する（調節機能のある暖房放熱器のみ）

＊暖房放熱器の調節方法などについては、暖房放熱器側の取扱説明書に従ってください。

1 ふたの中の 暖房予約 を押して「入」時刻の設定画面にする

（運転スイッチ「入」時の表示例）

＊運転入/切 の「入」「切」に関係なく、暖房予約できます。
＊前回設定した「入」時刻を表示します。
＊「ピピピ」と鳴ったり、「入」時刻の設定画面にならないのはなぜ？
→時計あわせをしてください。（☞P18）

2 時刻 すすむ 給湯温度 もどる で「入」時刻を設定する

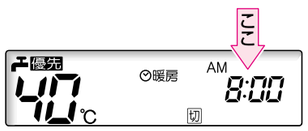
【「入」時刻設定完了】

＊一度押すごとに10分ずつ、長押しすると1時間ずつ変わります。
＊前回の設定でよければ、「入」時刻設定せず、手順3をおこなってください。
＊「入」時刻を設定しない場合は、時刻を「-:--」に設定してください。（「-:--」はAM11:50とPM0:00の間にあります）

3 暖房予約 を押して「切」時刻の設定画面にする

＊前回設定した「切」時刻を表示します。

4 時刻 すすむ 給湯温度 もどる で「切」時刻を設定する



【「切」時刻設定完了】

＊一度押すごとに10分ずつ、長押しすると1時間ずつ変わります。
＊前回の設定でよければ、「切」時刻設定せず、手順5をおこなってください。
＊「切」時刻を設定しない場合は、時刻を「-:--」に設定してください。（「-:--」はAM11:50とPM0:00の間にあります）

（つづく）

（つづき）

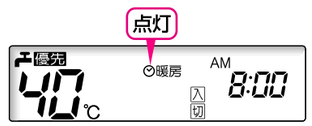
5 暖房予約 を押す

【暖房予約完了】

＊暖房予約 を押さないと予約されません。

「入」時刻になると【暖房開始】

「切」時刻になると【暖房停止】



●「入」時刻になる前に、暖房を開始したいとき

暖房入/切 を押して「入」にする

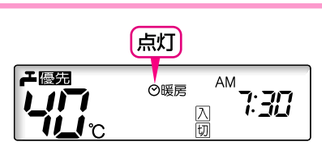
【暖房開始】

＊暖房予約は解除されません。
＊「切」時刻になると、自動的に暖房が停止します。

●「入」時刻になったあと、暖房をやめたいとき

暖房入/切 を押して「切」にする

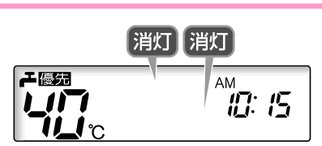
【暖房停止】



＊暖房予約は解除されません。

● 暖房予約をやめたいとき

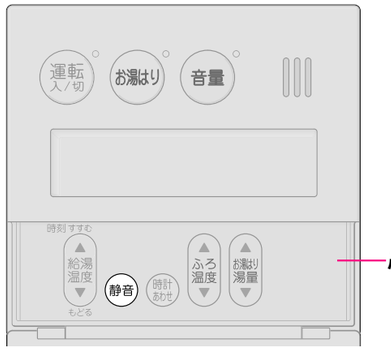
暖房予約 を押して予約を解除する



＊暖房「入」時刻になってから暖房予約を解除すると、暖房入/切 を押して「切」にするまで暖房を続けます。

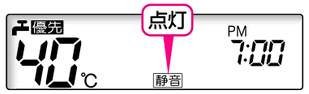
暖房時の音が気になるときは＜静音＞

【台所リモコン】



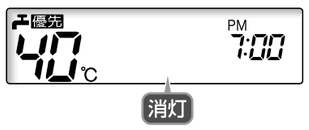
ふたを開けた状態

＊通常、暖房開始時は最大能力運転となりますが、静音設定することで暖房能力を低下させ、運転音を下げることができます。
※冷え込みが厳しいときは、あたたまりにくいことがあります。

操作	操作後の画面	お知らせ
1 ふたの中の (静音) を押して「入」にする **【静音設定完了】**	 （運転スイッチ「入」時の表示例）	＊(運転 入／切) の「入」「切」に関係なく、設定できます。

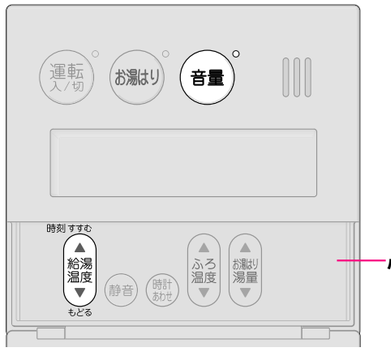
● 静音設定をやめたいとき

(静音) を押して「切」にする



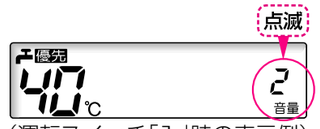
操作音・音声ガイドの音量を変更する

【台所リモコン】



ふたを開けた状態

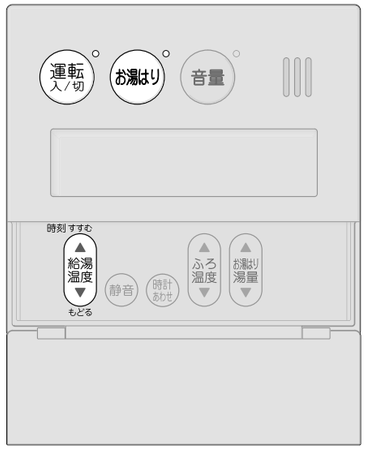
＊操作音とは：
スイッチを押したときに鳴る音のこと。
＊音声ガイドとは：
スイッチ操作の受付時や、お湯はりに関するお知らせの声やメロディのこと。

操作	操作後の画面	お知らせ
● 操作音・音声ガイドの音量を変更したいとき		
1 (音量) を押す	 （運転スイッチ「入」時の表示例）	＊(運転 入／切) の「入」「切」に関係なく、設定できます。 ＊現在の音量を表示します。
2 (音量) またはふたの中の (給湯 温度 ▲▼) で 音量を 0 ～ 3 に変更する **【音量変更完了】**	（例：3）	＊0（消音）、1（小）、2（中）、3（大）で変更できます。 ＊一度押すごとに変わります。 ＊操作後 約5秒たつと、元の画面に戻ります。 ＊0（消音）にすると、(音量) ランプ点灯。
● 「音声ガイド」のみ消したいとき		
P32をご覧ください		

＊「0（消音）」に設定すると、お湯はりメロディは鳴りません。

使い勝手に合わせて設定を変更する＜ユーザー設定＞-1

【例：台所リモコン FSR-A08A-SV】



リモコンの音声ガイド

リモコンの音声ガイドあり・なしを変更したいときに。

1 運転入/切 を「切」にする

2 お湯はり を約2秒間押して
項目No.1を点滅させる

3 お湯はり を押す
（点滅が右に移動します）

設定を変更

4 給湯温度▼で、点滅しているon（またはoF）を変更する

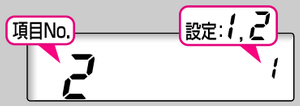
on 音声ガイドあり
oF 音声ガイドなし

（初期設定＝on）

設定完了

台所リモコンの時計表示と増設リモコンの「表示の節電」

運転スイッチ「切」でも台所リモコンの時計を表示させたいときや、増設リモコンの「表示の節電」の設定を変えたいときに。



1 運転入/切 を「切」にする

2 お湯はり を約2秒間押して
項目No.1を点滅させる

項目No.を変更

3 給湯温度▼で、点滅している1を2にする

4 お湯はり を押す
（点滅が右に移動します）

設定を変更

5 給湯温度▼で、点滅している1（または2）を変更する

1 台所リモコン：運転スイッチ「切」時は時計表示をしない
増設リモコン：表示の節電をする
2 台所リモコン：運転スイッチ「切」時にも時計表示をする
増設リモコン：表示の節電をしない

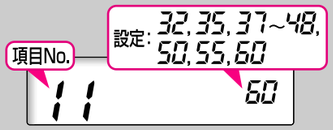
（初期設定＝1）

設定完了

【そのまま機器を使用する場合】 運転入/切 を「入」にする
【機器を使用しない場合】 約30秒放置する

給湯温度の上限（最高温度）

あついお湯が出ないようにしたいときなどに。



1 運転入/切 を「切」にする

2 お湯はり を約2秒間押して
項目No.1を点滅させる

項目No.を変更

3 給湯温度▼で、点滅している1を11にする

4 お湯はり を押す
（点滅が右に移動します）

設定を変更

5 給湯温度▼で、点滅している60（または32，35，37～48，50，55）を変更する

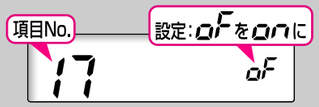
32℃，35℃，37℃～48℃（1℃きざみ），50℃，55℃，60℃

（初期設定＝60）

設定完了

【対応する浴室暖房乾燥機がある場合】浴室の乾燥終了のお知らせ

浴室の乾燥が終了したら、リモコンでお知らせ音を鳴らしたいときに。



1 運転入/切 を「切」にする

2 お湯はり を約2秒間押して
項目No.1を点滅させる

項目No.を変更

3 給湯温度▼で、点滅している1を17にする

4 お湯はり を押す
（点滅が右に移動します）

設定を変更

5 給湯温度▼で、点滅しているoF（またはon）を変更する

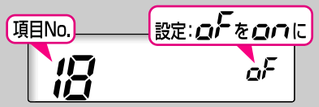
on 浴室の乾燥が終了したら、約10秒間「ピピッピピッ」と鳴ってお知らせします
oF 乾燥終了のお知らせはしません

（初期設定＝oF）

設定完了

機器の水抜き

機器の水抜きをするときに。
（☞P36「凍結による破損を予防する」）



1 運転入/切 を「切」にする

2 お湯はり を約2秒間押して
項目No.1を点滅させる

項目No.を変更

3 給湯温度▼で、点滅している1を18にする

4 お湯はり を押す
（点滅が右に移動します）

設定を変更

5 給湯温度▼の 給湯▲ を押して、点滅しているoFをonに変更する

すぐに機器の水抜き開始

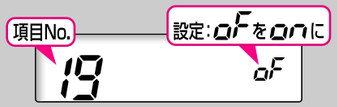
※機器の水抜き中にoFを選択すると、機器の水抜きを中止します。

【そのまま機器を使用する場合】 運転入/切 を「入」にする ／ 【機器を使用しない場合】約30秒放置する

使い勝手に合わせて設定を変更する<ユーザー設定>-2

設定のリセット

変更したユーザー設定などを初期設定に戻します。
（☞P50「初期設定一覧」の★の項目）



1 運転入/切 を「切」にする

2 お湯はり を約2秒間押して
項目No.1を点滅させる

項目No.を変更

3 給湯温度▼で、点滅している1を
19にする

4 お湯はり を押す
（点滅が右に移動します）

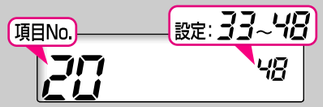
設定を変更

5 給湯温度▼の給湯▲をピッと鳴るまで
（約5秒間）押す
表示がonになり、変更した設定が初期設定に戻ります。

設定完了

ふろ温度の上限（最高温度）

ふろ温度の設定を制限したいときに。



1 運転入/切 を「切」にする

2 お湯はり を約2秒間押して
項目No.1を点滅させる

項目No.を変更

3 給湯温度▼で、点滅している1を
20にする

4 お湯はり を押す
（点滅が右に移動します）

設定を変更

5 給湯温度▼で、点滅している48（または33～47）を変更する

33～48℃（1℃きざみ）
（初期設定＝48）

設定完了

台所リモコンのスイッチを押したときの表示画面の明るさ

台所リモコンのスイッチを押したときの表示画面を明るく（暗く）したいときに。

1 運転入/切 を「切」にする

2 お湯はり を約2秒間押して
項目No.1を点滅させる

項目No.を変更

3 給湯温度▼で、点滅している1を
21にする

4 お湯はり を押す
（点滅が右に移動します）

設定を変更

5 給湯温度▼で、点滅している2（または0,1,3）を変更する

0	暗い
1	やや暗い
2	標準
3	明るい

（初期設定＝2）

設定完了

【そのまま機器を使用する場合】運転入/切 を「入」にする　／　【機器を使用しない場合】約30秒放置する

凍結による破損を予防する-1

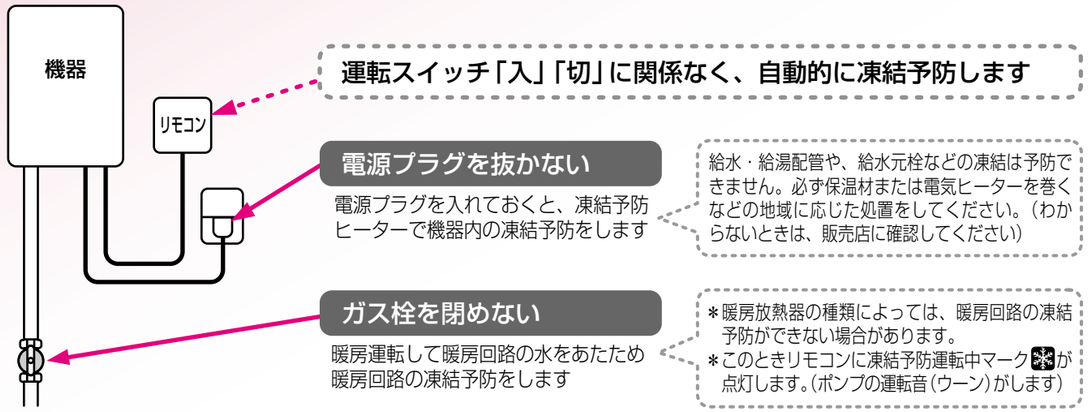
お願い	凍結による破損を予防する	＊暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。 ＊凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

通常の寒さのとき
（右の気象条件ほど厳しくないとき）
↓
処置1 をする

●低温注意報が発令されたとき
●外気温が極端に低いとき（−15℃以下）
●−15℃より高くても風があるとき
↓
処置1＋2 または **処置3** をする
※上記の気象条件の場合は、処置1のみでは凍結予防できません

長期間使用しないとき
↓
処置3 をする

処置 1　凍結予防ヒーター＋ポンプ運転による方法



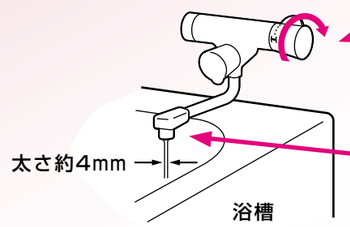
処置 2　通水による方法

1 リモコンの運転スイッチ「切」にする

2 サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は、最高温度側にする

3 おふろの給湯栓を開き、少量の水を流したままにする
少量の水とは･･･1分間に約400cc、太さ約4mm

4 約30分後、流れる量を確認する
流量が不安定になっている場合があります



＊機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。
＊結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態で給湯栓から水を出さないようにお願いしていますが（☞P10）凍結予防の処置の場合は問題ありません。
＊サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。
＊この処置をしても凍結するおそれのある場合には、P36～37の手順で水抜きをおこなってください。

凍結による破損を予防する-2

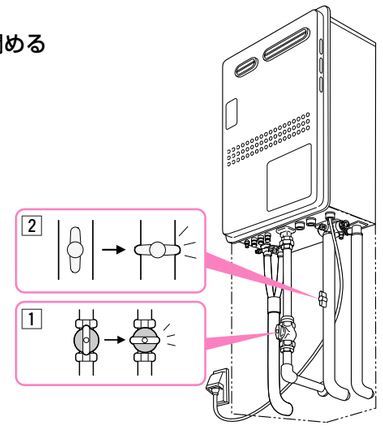
処置 3 水抜きによる方法

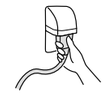
リモコンがない場合はお客さまで水抜きができませんので、販売店または、もよりの東京ガスにご依頼ください。

⚠注意 機器の水抜きをする場合、運転スイッチ「切」にし、機器が冷えてからおこなう

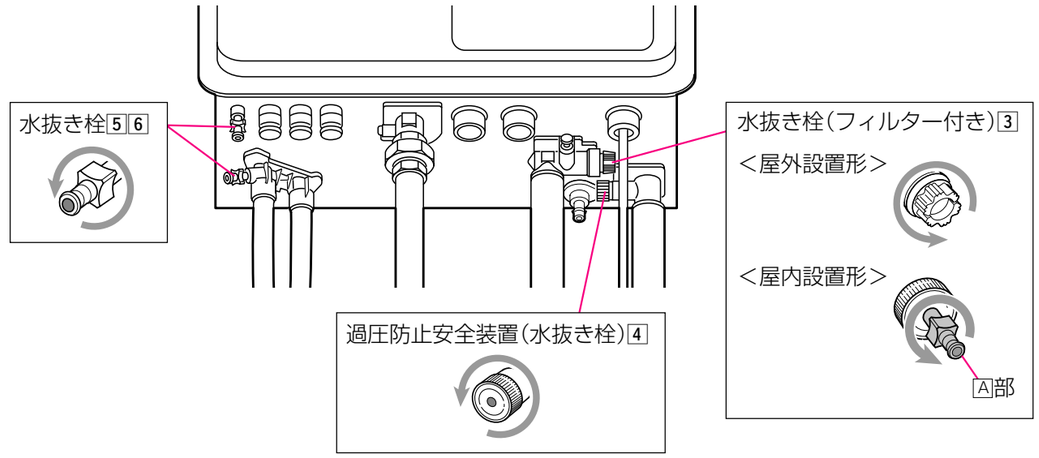
やけど予防のため。機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

＊右ページイラストを参照してください。

操作	お知らせ
準備 水抜き栓などからお湯(水)が約700cc出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。	
1 ガス栓[1]と給水元栓[2]を閉める  (例：FD2808ARSW3QU)	
2 1. リモコンの 運転入/切 を「切」にする 2. 「使い勝手に合わせて設定を変更する」の要領で「機器の水抜き」の設定を「on」にする(☞P33)	＊水抜きを中止する場合は、運転スイッチを「入」にするか、機器の水抜きの設定を「oF」にしてください。 ＊水抜きの途中で電源プラグを抜かないでください。
3 家中のすべての給湯栓を全開にする 	
4 1. 屋外設置形の場合は、水抜き栓(フィルター付き)[3]を左に回して外す 屋内設置形の場合は水抜き栓(フィルター付き)[3]のA部を左に回して開ける 2. 過圧防止安全装置(水抜き栓)[4]を左に回して開ける	＊排水します。
5 機器正面の下部にあるラベルで、不凍液が入っているかどうか確認する ＊「不凍液が入っています」というラベルがある場合→手順7へ ＊上記以外の場合(不凍液が入っていない場合)→手順6,7へ	＊不凍液が入っていない場合、手順6,7で水抜きしますが、暖房放熱器や暖房配管の凍結予防はできません。

操作	お知らせ
6 【不凍液が入っていない場合】 水抜き栓[5][6]を左に回して開ける	＊排水します。 ＊寒冷地では不凍液のご使用をおすすめします。
7 手順2の2.の操作から10分以上経過後、機器の電源プラグを抜く ぬれた手でさわらない 	
8 完全に排水したことを確認したあと、すべての水抜き栓・過圧防止安全装置(水抜き栓)・家中のすべての給湯栓を閉める 確実に閉まっていることを確認する	

(例：FD2808ARSW3QU)　※各水抜き栓は、保温材などで見えにくいことがあります。



水抜き後の再使用のとき

1．すべての水抜き栓・過圧防止安全装置(水抜き栓)・家中のすべての給湯栓が確実に閉まっていることを確認する。
2．給水元栓を開ける。
3．家中のすべての給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉め、機器や配管から水漏れがないかよく確認する。
4．ガス栓を開け、電源プラグを電源コンセントに差し込む。

※通水後初めての暖房使用で、リモコンに表示「543」「173」が出る場合
暖房放熱器側の運転とリモコンの運転スイッチをいったん「切」にし、機器の給水元栓が開いていること・水抜き栓[5][6]が閉まっていることを確認し、電源プラグを抜き、再度電源プラグを差し込んで再使用してください。

凍結による破損を予防する-3

凍結してお湯(水)が出ないとき

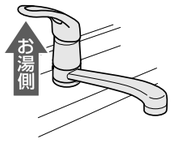
■運転スイッチを「切」にする

＊「入」にしていると燃焼する場合があります。
＊気温の上昇により自然に解凍するまで待つことをおすすめします。

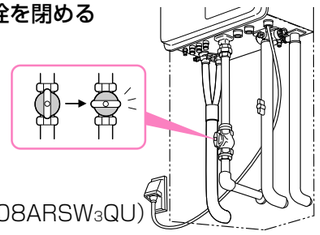
■すぐにお湯を使いたい場合は、以下の方法をお試しください

1 リモコンの(運転 入/切)を「切」にする

2 台所などの給湯栓を少し開けておく

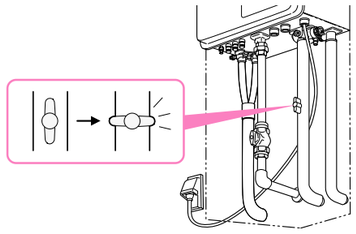


3 ガス栓を閉める



(例：FD2808ARSW3QU)

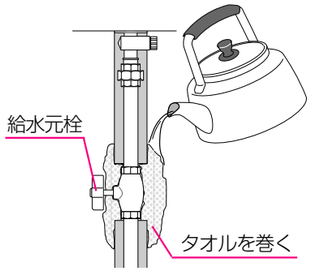
4 給水元栓を回してみる(閉めてみる)



■ 給水元栓が凍結して回らない場合

1)タオルを給水元栓のまわりに巻く。
2)**人肌程度(30～40℃)のぬるま湯**を給水元栓に巻いたタオルにゆっくりかける。

注意
＊熱湯をかけると配管が破裂するおそれがあります。
＊機器の電源プラグ、コード、電源コンセントにお湯がかからないように注意してください。
＊ガス栓とまちがえないように注意してください。



3)給水元栓が回る(水が流れる音がする)ようになったら、給湯栓を閉める。
4)タオルを外し、給水元栓のまわりについた水を乾いた布でふき取る。
5)今後凍結しにくいようにするため、給水元栓まわりに保温材をかぶせるなどの処置をする。
(わからないときは、販売店に確認してください)

■ 給水元栓が回るのに水が出ない場合

給水元栓を必ず閉め、気温の上昇により自然に解凍するのを待つか、販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください。

＊凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。(暖房運転もしないでください)機器の故障の原因となります。
＊給湯栓から水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ使用してください。
＊この処置でガス栓を閉めている間は、ポンプの循環で暖房回路の凍結予防は保たれます。

日常の点検・お手入れのしかた-1

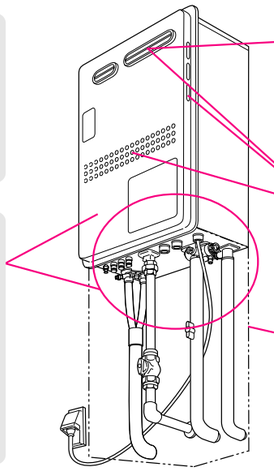
⚠注意 ❗ 機器の点検・お手入れをする場合、運転スイッチ「切」にし、機器が冷えてからおこなう

やけど予防のため。
機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

点検(定期的に)

チェック 機器や排気口・給排気筒トップのまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか？
➡ 燃えやすいものを置かない。

チェック ＊機器外装に異常な変色はないか？
＊機器外装の下部周辺などにサビや穴開きはないか？
＊運転中に機器から異常音が聞こえないか？
＊機器・配管から水漏れはないか？
➡ 現象があった場合は、販売店または、もよりの東京ガスへ連絡する。



(例：FD2808ARSW3QU)

チェック 排気口・給排気筒トップにススがついていないか？
➡ ついていたら、販売店または、もよりの東京ガスへ連絡する。

チェック 排気口・給排気筒トップ・給気口がほこりなどでふさがっていないか？
➡ ふさがっている場合は、掃除する。

チェック 【配管カバーまたは据置台がある場合】配管カバーまたは据置台のフロントカバーにガタつきやゆるみがないか？
➡ ガタつきやゆるみがないよう、ネジをしっかりと締める。

お手入れ(定期的に)

● 機器本体 ●

＊機器本体の外装の汚れは、ぬれた布で落したあと充分水気をふき取ってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。
＊海に近く潮風が当たりやすい地域の場合、潮風によって、機器本体および配管接続部にサビが発生する場合があります。サビがひどい場合は、機器本体内部への影響も考えられますので、点検(有料)をおすすめします。

● リモコン ●

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布で軽くふいてください。

お願い	リモコンの掃除には、塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤などを使用しない	お願い	リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない、故意に水をかけない
変形する場合があります。		炊飯器、電気ポットなどに注意。故障の原因になります。防水型のリモコンでも、多量の水は故障の原因になります。	

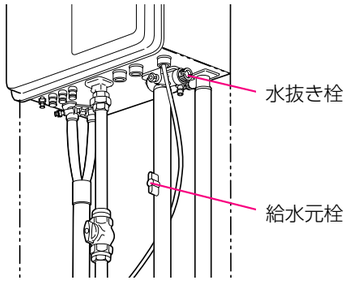
日常の点検・お手入れのしかた-2

● 水抜き栓のフィルター ●

水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

※お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、運転スイッチ「切」にして機器が冷えてからおこなってください。（やけど予防のため）

※水抜き栓からお湯（水）が出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

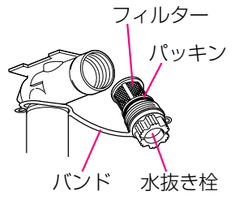


（例：FD2808ARSW3QU）

1．給水元栓を閉める。
2．すべての給湯栓を開ける。

【屋外設置形の場合】

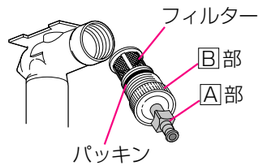
3．水抜き栓を左に回して外す。（※1）
4．配管とつながっているバンドから外す。



5．フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。（※2）
6．元どおりに水抜き栓を取り付ける。

【屋内設置形の場合】

3．A部を左に回して開ける。（※1）
4．水が完全に抜けたら、B部を左に回して外す。（※1）



5．フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。（※2）
6．元どおりにB部を取り付け、A部を閉める。

（※1）このとき水（湯）が出るので注意してください。
（※2）水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターの間のパッキンをなくさないように注意してください。

7．すべての給湯栓を閉める。
8．給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。

● 定期点検のおすすめ（有料） ●

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。点検は販売店にご相談ください。

故障・異常かな？と思ったら-1

お湯・シャワー

こんなときは	こんなことが考えられます	対策
給湯栓を開いても お湯が出てこない お湯にならない	ガス栓・給水元栓が全開になっていない。	**ガス栓・給水元栓を全開に。**
	断水している。	**復旧を待つ。**
	給湯栓が充分開いていない。	**給湯栓を充分に開ける。**
	ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断している。	**もよりの東京ガスに連絡を。**
	水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっている。	☞P40
	凍結している。	☞P38
	運転スイッチ「切」になっている。	**運転スイッチ「入」に。**
	お湯はりスイッチでお湯はりが終了したあと、給湯栓を閉めていない。	**給湯栓を閉め、お湯はりランプが消灯するのを確認する。**☞P23
お湯が出てくるまで時間がかかる	機器から給湯栓まで距離があるためです。	**異常ではありません。**
低温のお湯が出ない	ガス栓・給水元栓が全開になっていない。	**ガス栓・給水元栓を全開に。**
	給湯温度の設定が合っていない。	☞P20
	夏場などの水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなることがあります。	**給湯栓をもっと開いて使用する。**
	少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなることがあります。	**もう少し給湯栓を開いて使用する。**
	弊社ソーラー接続ユニットを使用して太陽熱温水器と接続している場合、太陽熱温水器でお湯の温度が高くなるため、低温のお湯が出ない場合があります。	**異常ではありません。**
高温のお湯が出ない	ガス栓が全開になっていない。	**ガス栓を全開に。**
	給湯温度の設定が合っていない。	☞P20
給湯栓を絞ると水になった	給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3.5L以下になったとき消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。	**異常ではありません。**
給湯温度の調節ができない	操作しているリモコンが優先になっていない。	**優先切替。**☞P21
給湯温度の設定がある温度以上、上げられない	ユーザー設定の項目No.11で給湯温度の上限を設定している。	☞P33
お湯が白く濁って見える	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものです。	**異常ではありません。**
給湯栓から出るお湯の量が変化する	お湯を使用中に、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があります。また、水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったりいったん止まる場合があります。	**異常ではありません。いずれもしばらくすると安定します。**
	給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。	**異常ではありません。**

故障・異常かな？と思ったら-2

	こんなときは	こんなことが考えられます	対策
おふろ	おふろのお湯がぬるい おふろのお湯があつい	ふろ温度の設定が合っていない。	☞P24
		さめた残り湯(水)があるときにお湯はりすると、その分だけ設定したふろ温度よりぬるくなります。	異常ではありません。
	ふろ温度の設定が ある温度以上、上げられない	ユーザー設定の項目No.20でふろ温度の上限を設定している。	☞P34
	設定したお湯はり湯量より、 多くお湯はりされてしまう	残り湯(水)がある場合や、お湯はり中にお湯はりスイッチを「切」にし再度「入」にした場合は、浴槽に残っているお湯(水)の量だけ、設定したお湯はり湯量より多くなります。	異常ではありません。
	設定したお湯はり湯量より、 少なくお湯はりされてしまう	お湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、使用した分だけお湯はり湯量が少なくなります。	異常ではありません。
リモコン	運転ランプが点灯しない	停電している。	復旧を待つ。
		電源プラグが抜けている。	電源プラグの確認を。
	時計表示が「-:--」に なっている	停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電して時計を表示させると「-:--」になる場合があります。	時計をあわせ直す。 ☞P18
	リモコンのスイッチや表面のビニールが 破れてきた、はがれてきた、 浮き上がって空気が入っている	リモコンの表面には、出荷時に保護シート(表面に傷などがつかないようにするためのもの)が貼ってあります。この保護シートは、はがさずに使用してもはがして使用してもかまいません。 保護シートをはがさずに使用した場合は、よく触れる部分などが破れてきたりはがれてきたりしますが、そこからリモコンに水が入って故障することはありません。	気になる場合は保護シートをはがす。
	リモコンに❄マークが 点灯している	凍結予防のためポンプが作動しているときに点灯します。	異常ではありません。
	設定量までお湯はりしても、 お湯はりメロディが鳴らない ／鳴るタイミングがずれている	お湯はり中に、台所リモコンで優先を切り替えるため運転スイッチを「切」「入」した場合は、お湯はりメロディは鳴りません。	異常ではありません。
		設定した湯量分お湯が連続して出ると、お湯はりメロディが鳴るしくみになっています。お湯はり中に台所やシャワーでお湯を使うと、設定した湯量になる前にお湯はりメロディが鳴ります。	異常ではありません。
		サーモ付混合水栓の場合、水栓で水を混ぜるため、設定したお湯はり湯量より水の分だけ多いところでお湯はりメロディが鳴ります。	異常ではありません。
		音量を「0」にしていると、お湯はりメロディは鳴りません。	☞P31

	こんなときは	こんなことが考えられます	対策
暖房	床面がなかなかあたたまらない	床仕上げ材の種類・外気温度・住宅構造などによって、あたたかくなるまでの時間は異なります。(目安：1時間程度)	異常ではありません。
	床面のあたたかさが 場所によって異なる	温水配管内に温水を循環させて床をあたためるしくみになっています。温水配管の通っているところと通っていないところでは、床面の温度に多少の差が生じます。	異常ではありません。
	床暖房の温度変更を していないのに 床面の温度が下がった	床暖房しはじめは、早く床面をあたためるために高温の温水を流し、ある程度時間がたつと、温水を一定の温度に下げます。	異常ではありません。
	床暖房中に音がする	床暖房の熱によって、温水床暖房マットや床仕上げ材などが収縮・膨張するため発生する音、または温水の流れる音です。	異常ではありません。
	床暖房を使用していないのに 床があたたまることがある	床暖房回路内にたまった空気を抜くために、約1か月ごとにポンプが作動します。このときに他の暖房端末(浴室暖房など)を使用していると、床の温度が一時的に多少上昇する可能性があります。	異常ではありません。
	床面の足ざわりが 場所によって異なる	温水配管やその接続部などがあるため、床面の足ざわりが周囲と異なる場合があります。	異常ではありません。
	床面に凹凸や段差がある	温水床暖房マットを2枚以上併設しているときや、床仕上げ材と周辺の継ぎ合わせ部などには多少の凹凸があるため、光の当たり具合により目立つことがあります。	異常ではありません。
	床面の継ぎ目にすき間がある	暖房を使用することにより、乾燥して仕上げ材が収縮し、継ぎ目にわずかなすき間が生じる場合があります。	異常ではありません。
	床面が変色した	床仕上げ材に直射日光が長時間当たると、日焼けによる変色やひび割れが生じる場合があります。	カーテンやブラインドで日差しをさえぎる。

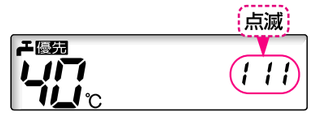
故障・異常かな？と思ったら-3

機器全般

こんなときは	こんなことが考えられます	対策
排気口・給排気筒トップから湯気が出る	機器を使用していない場合でも、暖房回路の凍結予防時には、白い湯気が出ます。	**異常ではありません。**
運転中に停止した	ガス栓・給水元栓が全開になっていない。	**ガス栓・給水元栓を全開に。**
	断水している。	**復旧を待つ。**
	給湯栓が充分開いていない。	**給湯栓を充分に開ける。**
	ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断している。	**もよりの東京ガスに連絡を。**
運転を停止しても、しばらくの間ファンの回転音（ブーン）がする **運転スイッチを「入」「切」したり、給湯栓を開閉したり、機器の使用後しばらくするとモータが動く音（クックッ、クー）がする**	再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。	**異常ではありません。**
ポンプの回転音（ウーン）がする	気温が下がると、凍結予防のためにポンプが作動します。	**異常ではありません。**
	長期間使用しない場合に、暖房回路内にたまった空気を抜き、次回使用するときに支障がないようにするためにポンプが作動します。（約1か月ごと）	**異常ではありません。**
過圧防止安全装置（水抜き栓）から、お湯（水）が少しの間出ることがある	機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、過圧防止安全装置（水抜き栓）から水滴が落ちることがあります。	**異常ではありません。**
水が青く見える **浴槽や洗面台が青く変色した**	浴槽や洗面台が水中に含まれる微量の銅イオンと脂肪分（湯あか）により青く着色することがありますが、 健康上問題ありません。	**浴室用洗剤とスポンジでこまめに掃除することにより着色しにくくなります。**

故障表示が出ているときは

不具合が生じたとき、時計表示部に故障表示が点滅します。
下表に応じた処置をしてください。
（お客さまで対処できるもののみ記載しています）



（表示例）

故障表示	原　因	処　置
011	給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
111	給湯側の点火エラーが生じたため	運転スイッチ「切」にし、P46の※の事項を確認して、問題があれば処置してください。 その後運転スイッチ「入」にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常です。
113	暖房側の点火エラーが生じたため	運転スイッチと暖房放熱器側の運転を「切」にし、P46の※の事項を確認して、問題があれば処置してください。 その後運転スイッチと暖房放熱器側の運転を「入」にして暖房運転をし、表示が出なければ正常です。
161	お湯の温度が設定温度より異常に上がりすぎたため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして、給湯栓をもっと開いて使用してください。
901 903	本体の燃焼に異常が生じたため	運転スイッチをいったん「切」にして再び「入」にしてもリセットできない、またはリセットしてもたびたび表示が出る場合は、修理を依頼してください。
101 103	給排気に異常が生じたため安全のために能力を低下させます	能力低下の状態で使用できますが、安全のため点検を受けてください。
991 993	本体の燃焼に異常が生じたため	機器が使用できません。 修理を依頼してください。

屋内設置強制給排気形の場合

＜この機器には安全性を高めるため不完全燃焼防止装置（COセンサー）が内蔵されています。＞

故障表示	原　因	処　置
130	燃焼上の不具合 （一酸化炭素濃度）	・窓を開けて充分な換気をしてください。 ・給湯栓を閉めてください。 ・暖房放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。 ・運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。 ・上記の処置をしても表示が出る場合は、製品などに異常があります。販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください。
380	不完全燃焼防止装置（ＣＯセンサー）に異常が生じたため	販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください。
	不完全燃焼防止装置（ＣＯセンサー）が耐用時間をこえたため	そのまま放置しておくと、使用できなくなります。 販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください。

（つづく）

故障・異常かな？と思ったら-4

（つづき）

※111,113 表示時の確認事項

ガス栓が開いているか	▶	開いていなければ、全開にしてください。
ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断していないか	▶	遮断していたら、販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください。

● 以下の場合は、販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください ●

＊前記以外の表示が出るとき
＊前記の処置をしてもなお表示がくりかえし出るとき
＊その他、わからないとき

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

P41～46の「故障・異常かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください。

● 連絡していただきたい内容 ●

品名 ……機器正面に貼り付けてある銘板または保証書をご覧ください
お買い上げ日 ……保証書をご覧ください
異常の状況 ……故障表示など、できるだけくわしく
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日

※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。
（工事店にご相談ください）

保証について

この取扱説明書には保証書がついています。
必ず販売店名・お買い上げ日などが記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、機器（銘板）に表示してあるガスの種類・電源（電圧・周波数）が移設先と合っているか必ずご確認ください。
不明のときは、移設先のガス事業者、販売店または、もよりの東京ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。
※ガスの種類によっては改造・調整できない場合があります。

その他

BL認定品には、機器の前面にBLマークを表示しています。
BL認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。
（財）ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

主な仕様

・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
・出湯能力は湯水混合の計算値です。
　但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕　様　表

		16号			
品名		FD2808ARSW3QU	FD2808ARS2W3QU	FD2808ARS4W3QU	FD2808AFSW3QU
型式名		GQH-1644WXA	GQH-1644WXA-L	GQH-1644WXA-T	GQH-1644WXA-FF
種類	給湯方式	先止め式			
	設置方式	屋外設置形			屋内設置形
点火方式		放電点火式			
水圧	使用水圧〈MPa〉	0.1～1.0（1.0～10.0kgf/cm²）＜推奨水圧 約0.15～0.5（約1.5～5.0kgf/cm²）＞			
	作動水圧〈kPa〉	10（0.1kgf/cm²）			
最低作動流量〈L/分〉		3.5			
外形寸法〈mm〉		高さ750×幅480×奥行240			
質量（本体）〈kg〉		34	35	34	38
接続口径	暖房（往き・戻り）	高温往き、戻り･･･CCHジョイント　　低温往き･･･CHジョイント×3			
	給湯	R1/2			
	給水	R1/2			
	ガス	R3/4			
	オーバーフロー	R1/2			
電気関係	電源	AC100V（50/60Hz）			
	消費電力(50/60Hz)〈W〉	165／165	200／200		190／190
		凍結予防ヒーター 135			凍結予防ヒーター 145
	待機時消費電力〈W〉	3			4.3(2.8：COセンサー分を除く)
湯温制御方式		電子式ガス比例制御方式			
安全装置		立消え安全装置、空だき防止装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、空だき安全装置、沸騰防止装置、停電時安全装置、ファン回転検出装置、過電流防止装置、誘導雷保護装置、暖房ポンプ回転検出装置			

能　力　表

※品名は仕様表を参照してください。

16号	型式名	GQH-1644WXA，GQH-1644WXA-L，GQH-1644WXA-T，GQH-1644WXA-FF

使用ガス		1時間当りのガス消費量（最大消費量）〈kW〉			出湯能力（最大時）〈L/分〉	
		給湯+暖房同時使用	給湯	暖房	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス	13A	50.3	33.4	16.9	16	10
	12A	46.8	31.1	15.7	15	9.5

リモコン音声一覧

操作の一例を記載しています。

操作	スイッチ	条件など	音声（抜粋）
運転「入」	運転入／切「入」	給湯温度55℃以下のとき	♪
		給湯温度60℃のとき	♪ あついお湯が出ます
時計をあわせる	時計あわせ		♪ 時刻が変更できます
	時刻 すすむ ▲給湯温度▼ もどる で時刻設定		
	時計あわせ		♪ 設定しました
お湯の温度を調節する	▲給湯温度▼で温度調節	給湯温度55℃以下に調節	♪ 給湯温度を○度に変更しました
		給湯温度60℃に調節	♪ あついお湯が出ます 給湯温度を60度に変更しました
		そのリモコンが優先でないとき	♪（ピピピ）
おふろにお湯はりをする＜オートストップ＞	お湯はり「入」		♪ おふろの給湯栓を開けてください
		お湯はり終了が近づくと	♪（ピピピ）もうすぐおふろが沸きます
		お湯はり終了	♪♪♪～ おふろが沸きました 給湯栓を閉めてください
		給湯栓を閉めなかった場合	♪ 給湯栓を閉めてください
		給湯栓を閉めると	♪ お湯はりの設定を解除しています もうしばらくお待ちください
			♪ お湯はりの設定を解除しました
ふろ温度を調節する	▲ふろ温度▼で温度調節		♪ おふろの温度を変更できます ♪ おふろの温度を○度に変更しました
お湯はり湯量を調節する	▲お湯はり湯量▼で湯量調節		♪ おふろの湯量を変更できます ♪ おふろの湯量を変更しました
暖房する	暖房入／切「入」		♪ 暖房を開始します
	「切」		♪ 暖房を停止します
お好みの時刻に暖房開始・停止するよう設定する＜暖房予約＞	暖房予約		♪ 暖房の予約ができます
		時計あわせをしていないとき	♪（ピピピ）
	時刻 すすむ ▲給湯温度▼ もどる で時刻設定		
	暖房予約		♪ 予約を設定しました
	暖房予約 で解除		♪ 予約を解除しました
暖房時の音が気になるときは＜静音＞	静音「入」		♪ 静音の設定をしました
	「切」		♪ 静音の設定を解除しました
操作音・音声ガイドの音量を変更する	音量「入」		♪ 音量が変更できます
	音量 または ▲給湯温度▼で変更		♪ 音量が変更されました

初期設定一覧

項目	初期設定	
時計表示(未設定時)	-:--	
給湯温度	40℃	
ふろ温度	40℃	
お湯はり湯量	180リットル	
操作音・音声ガイドの音量	2（中）	★

ユーザー設定(☞P32～34)の項目	項目No.	初期設定	
リモコンの音声ガイド	1	on（あり）	★
「表示の節電」と時計表示	2	1（する）	★
給湯温度の上限(最高温度)	11	60℃	★
浴室の乾燥終了のお知らせ	17	oF（しない）	★
ふろ温度の上限(最高温度)	20	48℃	★
台所リモコンのスイッチを押したときの表示画面の明るさ	21	2（標準）	★

★は、ユーザー設定の項目No. 19（☞P34）でリセットできる項目です。

メモ

メモ欄として活用してください。

保 証 書

品　名	**給湯暖房用熱源機**			
	FD2808ARSW3QU	FD2808ARS2W3QU	FD2808ARS4W3QU	FD2808AFSW3QU
型式名	GQH-1644WXA	GQH-1644WXA-L	GQH-1644WXA-T	GQH-1644WXA-FF

見本

上記本体をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、東京ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

1．保証期間は、お買い上げの日から2年間とし、本体(リモコン含む)を対象にします。なお、下記部品については、別途以下の年数を 保証いたします。
　ポンプ・ファンモーター …… 3年
　電装基板・リモコン(電装基板に起因する故障のみ) …… 5年
　熱交換器 …… 5年
2．万一故障の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお申し出ください。原則として、出張修理いたします。
3．サービス員がお伺いした時に、本証書をご提示下さい。
4．保証期間内においても、次の場合は有償修理といたします。
　(1)　住宅用途以外でご使用になる場合の不具合
　(2)　取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の不具合
　(3)　器具を調整、改造された場合の不具合(但し、当社都合の場合はのぞきます)
　(4)　お買い上げ後、取付場所の移動、落下等による不具合
　(5)　建築躯体の変形等器具本体以外に起因する当該器具の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
　(6)　強い腐食性の空気環境に起因する不具合
　(7)　犬、猫、ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
　(8)　火災や凍結、落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天変地異または戦争、暴動等の破壊行為による不具合
　(9)　電気、給水の供給トラブル等に起因する不具合
　(10)　指定規格以外のガス、電気または熱媒等をご使用したことに起因する不具合
　(11)　給水・給湯配管などの錆び等異物流入に起因する不具合
　(12)　温泉水、井戸水等を給水したことに起因する不具合
　(13)　本保証書を紛失された場合
5．無料修理やアフターサービス等についてご不明な場合はお買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお問い合わせ下さい。

保証履行者　**東京ガス株式会社**　〒105−8527　東京都港区海岸１丁目５番20号

保証責任者　**株式会社リンリツ 東京支社**　〒163−0237　東京都新宿区西新宿２丁目６番１号

■お買い上げ日および販売店名

お買い上げ日	平成　　年　　月　　日					
販　売　店				扱者印		
住　　所						
電話番号						

■修理記録

この本体の修理記録用紙は、本体の内側にあります。

■お客さまへ

1．この保証書をお受け取りになる時に販売年月日、販売店、扱者印が記入してあることを確認してください。
2．本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3．無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「アフターサービス」の項をご覧ください。
4．この保証書によって保証書を発行している者(保証履行者・保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

◆この取扱説明書は再生紙を使用しています◆